

認知症に関する活動計画（概要）

大阪府作業療法士会では、地域推進部（認知症支援推進チーム、こども発達サポートチーム、地域包括ケアチーム）にて、府下全域の地域支援事業への参画状況の実態把握調査を行い、情報を共有出来るシートを作成した。これをもとに、必要な人材の育成・資質向上・各ブロックが有する機能を統一し、地域のニーズに応えられる体制を目指している。また地域支援事業により参画出来る事を目的に「地域で作業療法士が出来る事」といったタイトルのチラシ（表1）を、各支援事業を行っている組織や事業所に配布する準備を進めている。これを機に、地域支援事業に作業療法士が参画する機会の増加を目指している。

認知症支援推進チームの今年度活動計画

1. 人材の育成（研修会の開催）
  - 例年行っていた、基礎研修・応用研修から、より地域支援をイメージできる研修内容に変更
  - 内容：現在大阪府下で認知症における地域支援事業に参画している方（OT、NS、家族の会等）の実践報告とグループワーク（年2回開催）
  - 参加資格：都道府県士会を含む、認知症支援に興味のあるもの
2. 近畿作業療法士連絡協議会との連携
  - 近畿連絡協議会・認知症の人と家族の会を交えた合同研修開催
3. 各ブロックとの連携
  - ・各ブロックとの情報交換を密にして連携を強化する
  - ・情報共有シートの更新とアップデート
4. 市町村からの認知症支援事業・認知症予防事業委託に関する対応
  - ・大阪府下の包括支援センターにチラシを配布予定（地域局と連携）
  - ・研修受講修了者に対し認知症支援事業に関する情報発信

認知症の人と家族の会との連携事業

- ・定例会（つどい、つくしの会）への参加
- ・近畿連絡協議会・認知症の人と家族の会を交えた合同研修開催内容（表2）

表1

<p><b>認知症支援</b></p> <p>地域支援事業においては、初期集中支援チーム、カフェ、サポーター養成講座などに参画します。一般介護予防事業では、地域交流サロンでの講話や体験などに関わります。</p> <p>作業療法士は、認知症の人の「その人らしさ」を支援できる医療専門職です。</p>	<p><b>子育て・就労支援</b></p> <p>家庭・保育所(園) 幼稚園・学校・職場での「作業」をサポートします！</p> <p>乳幼児期：育児支援、家庭生活、遊びと学習、ソング材料等、発達的基础に関わります。</p> <p>児童：特別支援教育、児童福祉と連携し基礎</p> <p>青少年期：学力と生活スキルの習得を援助します。</p> <p>成人移行期：就労、地域自立生活に繋がるよう支援します。</p>
<p><b>地域で作業療法士ができること</b></p>	
<p>地域の集いの場へ参加し続けられるように評価し助言を行います。</p> <p>その人がその人らしく通い続けられるように生活行為を確認し、必要に応じて通いの場へ出向き支援します。</p> <p>短期集中予防介入(訪問・通所)の企画、実施を支援します。</p> <p><b>介護予防</b></p>	<p>生活不活発な方や困難事例に対して、生活行為向上に向けたアドバイスを行います。</p> <p>その人の生活行為の予後予測を立てます。</p> <p>地域課題の検討から地域作りを支援します</p> <p>現在、OTは大阪府下26市・7町村に参画しています。</p> <p><b>地域ケア会議</b></p>

表2

**I. 講義**

①当事者と家族の体験談

②家族の会と士会の取り組み

←

**II. ディスカッション**

意見交換会 & 親睦会

←